

公益財団法人 ダイトロン福祉財団

**Daitron**

《主な助成事例》(主に第1号事業)

【介護・福祉用機器、用具】



訓練台



はかり付きストレッチャー



洗体台



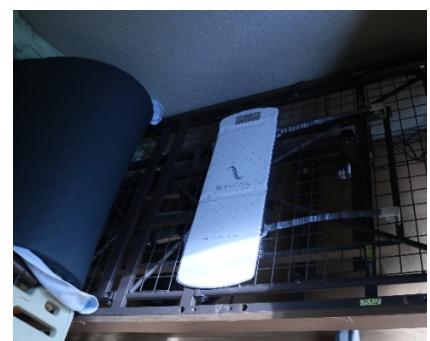
移動式リフト



器械浴槽



低床ベッド



眠りスキャン装置



車いす用体重計



身体障害者運転補助装置



運動遊具



運動遊具



運動遊具

## 【作業用機器・設備】



ガスコンロ



業務用食器洗浄機



業務用冷凍冷蔵庫  
業務用食器消毒保管庫



コンベクションオーブン



自動ごはん盛り機



食品乾燥機



ペットボトルキャップ  
粉碎機・射出成型機



カンプレッサー



業務用洗濯機



POS レジ



工業用ミシン



刺繡ミシン

## 【作業用機器】



農耕用トラクター



耕耘機



フォークリフト



除雪機



乗用草刈機



自走式草刈機



ラジコン草刈機

## 【什器・事務機器・OA 機器】



テーブル・椅子



エアコン



複合機



空気清浄機



洗濯機及び  
水道設備工事



掃除機

## 【什器・事務機器・OA 機器】



防犯カメラ設置



サーマルカメラ設置



放送設備機器



ラベラー



パソコン・OA 機器



スマートフォン



通信機器



複数の組合せでも申請できます。  
一例)ミシン、車いす、カーテン、壁紙・床等の施設改修など

## 【非常用設備、防災備蓄品等】



AED



エアーストレッチャー



避難器具設置

## 【非常用設備、防災備蓄品等】



ディーゼルエンジン発電機



非常用電源



非常用電源



カセットガスストーブ



防災関連品及び  
保管倉庫



防災備蓄品

## 【車両】



送迎・配送料用車両



送迎用車両



配送料用車両



キッチンカー



移動販売車

## 【施設改修】



洗面所改修



洗面・手洗い場改修工事



浴室改修



トイレ改修



照明・空調機改修



ベルトコンベア設置



スロープ改修工事



屋根改修工事



施設開設



コンテナハウス設置

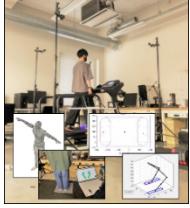


作業用テント設置



ビニールハウス設置

【調査研究】（第2号事業）

| 実施年度  | 最 近 の 助 成 事 業 (抜粋)  |
|-------|---|
| 2025年 | <p><b>障害者の権利擁護体制整備のための調査研究と報告会</b></p> <p>2025年8月末から10月末にかけて、大津市内の障がい者事業所を対象に、権利擁護（成年後見）に関するニーズ調査を実施し、45件の回答を得ました。</p> <p>11月2日には、あさがお20周年記念式典の一環として、調査結果の報告と、障害者支援のための「たすき掛け事業」の検証を兼ねたシンポジウムを開催しました。会場はコラボしが21大会議室で、約100名が参加し、地域の福祉課題や今後の支援の在り方について活発な意見交換が行われました。</p>    |
| 2025年 | <p><b>人権教育教職員研修会</b></p> <p>「日本人の自己肯定感を世界レベルに引き上げる」というペップトーク普及協会の理念に基づき、「子どものやる気を引き出す言葉かけや自主的行動を促す言葉のかけ方について」という内容でご講演をいただきました。教職員一同、日頃の児童生徒への言葉のかけ方や使い方等を振り返る機会になるとともに、児童生徒の成長を促すための言葉かけについて新しい視点で学ぶことができ、とても充実した有意義な研修会となりました。</p>   |
| 2025年 | <p><b>電動移動機器啓発パンフレット作成</b></p> <p>本書は、操作方法の解説にとどまらず、障がいにより主体的な移動が難しいお子さまとご家族、支援者の皆様に向けて、「動く喜び」を共有していただける内容となっております。</p> <p>執筆には、Kids Loco Projectのメンバーのほか、当事者である中学生のお嬢様にもご参加いただきました。彼女が初めて電動移動機器を操作した感動を「一人歩き記念日」と題して綴ってくださっています。</p>    |
| 2023年 | <p><b>心身に障害を抱える認知症患者の安全確保のための機器動作姿勢検出システムの開発</b></p> <p>本事業が達成することで、患者の危険動作姿勢時において瞬時に看護師や介助者、職場の管理者等に連絡することが可能となるだけでなく、何よりも障害者自身が安心して意欲的に日常生活を送ることが期待されます。</p> <p>現在は、様々な分析装置により危険動作姿勢を解析し、早期発見可能なシステム開発を研究分担者である青山学院大学の伊丹助教と連携して進めております。一方で現場においてどのような危険が存在するのかを分析するための調査アンケート準備を進めており、順調に研究を行うことができております。</p>                                     |
| 2021年 | <p><b>特別支援学校高等部卒業後の余暇活動の実態把握と課題に関する調査研究</b></p> <p>滋賀県内特別支援学校高等部(知的障がい、肢体不自由)卒業生の余暇活動の実態調査を行いました。</p> <p>調査結果は、本の形にまとめて県内特別支援学校や図書館をはじめ、関係機関等に配布します。タイトルは、「笑って話せば楽しく歩める」です。</p>    |
| 2020年 | <p><b>滋賀県における高齢の聴覚障害者のニーズ調査研究</b></p> <p>高齢の聴覚障害者が、地域社会とどのように関わり生活しているのか、家族や周りの人たちとのコミュニケーションの状況はどうなのか、健康介護についての悩みは何なのか、今後、高齢者を支援していくため必要なことは何かを調査し、社会資源づくりに向けた計画づくりをすすめてく予定です。</p>    |
| 2019年 | <p><b>法人後見における障害者の意思決定支援の具体化に関する調査研究</b></p> <p>現在、成年後見人・保佐人・補助人（以下「成年後見人等」）として活動しておられる専門職等を対象に、どのように本人の意思（思い）を大切にする後見活動をされているか調査を実施します。また、ご本人からも成年後見人等の活動について話を聞くこととしています。さらに、本人の意思（思い）を大切にする後見活動に取り組まれている先進的な団体等にも話を聞きます。</p> <p>そして、弁護士、司法書士、社会福祉士、障害福祉サービス事業所、当事者団体等からなる推進会議において、調査結果をもとに本人の意思（思い）を大切にする法人後見について検討し、最終、ガイドラインとして取りまとめています</p>  |
| 2018年 | <p><b>滋賀県下盲ろう者実態調査</b></p> <p>視覚と聴覚に障害をもつ人たちの支援をしている「しが盲ろう者友の会」では、県内に130名いると推定される盲ろう者の状況を少しでも把握しようと市役所等を訪問することにしました。また、そのために啓発パンフレットを作成し、県内の民生児童委員全員に配布いたしました。</p> <p>9月には、県民のみなさんに盲ろう者のことを使ってもらうために「盲ろう者と交流しよう」を開催しました。そこで、盲ろう者の手の平に文字を書くことで、自分の名前を伝えることができる体験してもらいました。盲ろう者のことをひとりでも多くの方に知っていたらしくことが、盲ろう者が安心して暮らせることがあります。盲ろう者への理解を広めるために、これからも活動ていきます。</p>  |

## 【その他支援】（主に第3号事業）



記念事業支援



文化交流活動支援



文化芸術活動支援



イベント開催支援



宿泊体験活動支援



講習会等支援



資格養成研修支援



就労選択支援事業支援



自動車教習支援



聴導犬訓練事業支援



事務所移転に伴う  
施設改修



電動移動機器導入



福祉車両導入



視線入力装置導入

これ以外にも幅広く助成を行っています。どうぞお気楽にご相談ください。